

みんなの あんしんファイル

保健事業に関するお問い合わせは、保健センター(TEL26-5670/FAX26-5660)

保健センターの場所は、伯耆しあわせの郷2階です。

母子保健スケジュール

種類	対象	日程	時間	場所	持参するもの	ご案内	
6か月児健康診査	平成23年6月 生まれの乳児	1/13(金) 1/17(火)		保健センター	・母子健康手帳 ・アンケート用紙	保護者に通知します。 ※当てはまる月の次の月まで案内しています。	
1歳6か月児健康診査	平成22年6月 生まれの幼児	1/11(水) 1/12(木)	(受付時間) 13:00~13:20			保護者に通知します。 ※1歳11か月までは受けることができます。	
3歳児健康診査	平成20年12月 生まれの幼児	1/5(木) 1/6(金)				保護者に通知します。 ※3歳11か月までは受けることができます。	
育児相談	市内在住の乳幼児	12/26(月)	9:30~11:30			・母子健康手帳	保健師・栄養士による個別相談
フッ素塗布	市内在住で希望する人	12/26(月)	9:30~11:30 13:30~15:30			中部歯科医師会 口腔衛生センター	・歯ブラシ ・母子健康手帳(子どものみ) ・歯ブラシ ・コップ ・母子健康手帳(子どものみ)
		12/24(土)	(受付時間) 13:30~15:30	歯科診察はありません。 ※要申込(申込先:口腔衛生センターTEL22-5472)			
マタニティサロン	市内在住の妊婦とその家族	12/26(月)	9:30~11:30	保健センター		みんなで話ができる場です。	

健康づくり

種類	対象	日程	時間	場所	ご案内
健康相談	市内在住で希望する人	12/16(金)	13:30~15:30	保健センター	栄養士・保健師による個別相談(食事・運動など健康について) ※要予約(予約先:保健センターTEL26-5670)

*ご希望により血圧測定、体重測定、体脂肪率、内臓脂肪レベル測定ができます。相談日以外でも随時相談を受け付けています。

「らくらく運動教室」

コレステロールや血糖が高い状態が続くと、自覚症状のないままに血管が傷つき、破壊されてしまいます。

簡単な運動でしなやかな血管をつくり、生活習慣を見直さきっかけとなる教室を開催します。

日にち:毎週月曜日(平成24年1月10日(火)~3月26日(月))
(全12回) ※1月10日のみ火曜日

時間:午後2時~3時30分

ところ:伯耆しあわせの郷

申込方法:電話申込(先着30人)

対象者:65歳未満で特定健診の結果脂質検査・血糖検査に異常のあった人(治療中以外の人)

内容:運動実技、ミニ栄養講座、体力測定、血液検査など

問 保健センター(TEL26-5670/FAX26-5660)



休日急患診療機関

受付時間:午前8時~翌朝午前8時
実施日:日曜日・祝日

日程	内科	外科
12/11(日)	野島病院	北岡病院
12/18(日)	厚生病院	清水病院
12/23(金)	信生病院	野島病院
12/25(日)	藤井政雄記念病院	三朝温泉病院
12/31(土)	厚生病院	清水病院
1/1(日)	野島病院	北岡病院
1/2(月)	信生病院	三朝温泉病院
1/3(火)	垣田病院	清水病院

「倉吉健康ガイド」掲載事業。事業の対象年齢や料金などの詳細は、健康ガイドをご覧ください。

看護職の方へ!

再就職をナースセンターがお手伝いします。

就業移動相談を開催します。

と き:12月7日(水)、平成24年2月22日(水)

午後1時~3時30分

ところ:倉吉未来中心セミナールーム6(2階)

※ナースセンターでは就業相談を常時受け付けています。

- 個別の相談です。
- 無料! 申込不要!
- 施設紹介パンフレット・子育て支援等の情報もあります。

お気軽にご参加ください。

鳥取県ナースセンター

社団法人鳥取県看護協会 厚生労働大臣許可看護師等無料職業紹介所

〒680-0901 鳥取市江津318-1 / TEL0857-25-1222 / FAX0857-25-1223 / tottori@nurse-center.net

広報専属!! 倉吉市総合政策課
TEL22-18161 / FAX22-18144



献血にご協力ください

【全血献血】



と き

12月25日(日)
9:30~15:00

と ころ

倉吉未来中心

問 鳥取県赤十字血液センター(☎0857-24-8101)

自殺予防講演会

自殺は、さまざまな要因が複雑に関係し、心理的に追い込まれた末の死です。要因への適切な対応や、うつ病等精神疾患に対する適切な治療により、多くの自殺は防ぐことができるとされています。

自殺予防に関する正しい知識の普及と、地域等での見守りや支援を強化するための取り組みとして、*自殺予防ゲートキーパーの育成を目的に講演会を開催します。

*自殺予防ゲートキーパー…家族や地域等で、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、見守り、必要に応じて専門機関を紹介する等適切な対応をとることが期待される人。

問 保健センター(☎26-5670/☎26-5660)



【第1回目】

と き：12月6日(火)午後1時30分～

と ころ：倉吉未来中心 小ホール

講 演：「こころの健康 地域の健康」

講 師：竹島 正さん(国立精神・神経医療研究センター 自殺予防総合対策センター長)

※そのほか、石川達之さんミニライブ、こころの健康相談、ストレスチェック等を実施します。

【第2回目】

と き：12月15日(木)午後1時30分～

と ころ：倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講 演：「自殺予防ゲートキーパーに求められるもの」

講 師：原田 豊さん(鳥取県精神福祉センター所長)

※第1回目の講演会だけの参加も可能です。

介護予防事業を紹介します

介護予防

「くらしよし介護支援ボランティア」を募集します

平成24年度から、高齢者が市内の介護保険施設などで行うボランティア活動について、時間数に応じたポイントを市が交付し、貯まったポイントを翌年度に換金できる制度を始めます。

【対象者】倉吉市在住の倉吉市介護保険第一号被保険者(65歳以上)

【活動場所】市が指定した市内の介護保険施設等

【活動内容】レクリエーション等の指導、催事の手伝い、散歩・外出・屋内移動の補助、話し相手、お茶出し、配膳等の補助、清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等

【制度の流れ】

①長寿社会課の窓口で、申請登録し、「くらしよし介護支援ポイント手帳」と「受入機関一覧表」を受け取ります。

登録に必要な物：介護保険被保険証、印鑑

②活動したい施設等に連絡した上で活動します。

③活動1時間につきスタンプ1個、活動2時間以上でスタンプ2個(1日2個まで)を手帳に押してもらいます。

※スタンプ1個につき100ポイント、1年度につき最大5,000ポイントまでです。

④年度末までにたまったポイントは、翌年度の4月中に、本人が長寿社会課の窓口で申請して換金できます。

※100ポイント=100円です。ただし、年度末時点で自身の介護保険料を未納または滞納している場合は、換金できません。

⑤後日、④で届出した口座に交付金が振り込まれます。

【一次登録申請期限】12月28日(水)

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

介護予防教室

～口腔ケアからはじまる若返り健康法～

口は、食べる、呼吸をする、しゃべる、表情を豊かにするなど、生活に欠かせない大切な機能を担っています。大切なお口の健康について考えてみましょう。

と き：12月7日(水)午後1時～3時

と ころ：倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講 師：足立 融さん(歯科医師) 参加料：無料

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

12月の認知症の人と家族の会 「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。気軽に参加してください。

倉吉会場 第3木曜日

と き：12月15日(木)午前10時～正午

と ころ：倉吉交流プラザ

関金会場 1月の第1木曜日

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

12月ホッといきいき教室 ～介護予防教室～

【と き】12月19日(月)午前10時30分～午後3時

【内 容】午 前：話「お口の健康は、からだの健康」

講 師：井上 陽子さん(歯科衛生士)

午 後：自由時間(脳トレクイズ、ニュースポーツ、健康相談など)

【と ころ】グリーンスコーレせきがね

【参加料】1,300円(昼食・入浴料)

【募集条件】65歳以上で、介護認定を受けていない人

※毎月、申し込みが必要です。

※送迎希望の場合は、開催日の1週間前までにご連絡ください。

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)



人権同和保育ってなあに？

「人権同和保育」は、子どもの心と体の調和した発達を促し、身近な差別と偏見をみんなで解決していこうとする保育です。今回は、市内にある保育園の「働くことの喜びと大切さを知り、生活を切り拓いていく子ども」を育てる取り組みを紹介します。

同和保育の取り組み

同和保育は、被差別部落の子どもや母親の就労を保障することから始まりました。現在では、子ども一人

一人が、発達や生活環境等に合わせながら健やかに成長していくことができるよう、「人権同和保育」として進められています。

めざす子ども像

- ・命(健康)を大切にしている子ども
- ・差別を見抜き、差別を許さない子ども
- ・豊かな心を持ち、考えて行動する子ども

- ・友達同士認め合い、力を合わせられる子ども
- ・働くことの喜びと大切さを知り、生活を切り拓いていく子ども
- ・平和を願い、いろいろな文化に関心を持つ子ども

「人権同和教育」と「お手伝い」

何かを「自分でしたい」、「友達とし

たい」と集団の中で意欲を示す子どもたち。この意欲がさまざまな保育活動や仕事、手伝いに挑戦する原動力となっています。

少々しんどいこともあるけど、自分や人の役に立つという充実感、達成感から自尊心が育ちます。

また、手伝いをする、生活に必要な多くのことが自然に身につくことにもなります。これが生きる力に身につけることにつながっています。

「幼いからまだできないのでは?」と思いがちですが、大人が考える以上に、子どもは力を持っています。

「お手伝い」のすすめ

子どもたちは、保育園で毎日雑巾がけをしたり、ごき敷き、草取り、当番活動、菜園活動等を行っています。

1,2歳児も友達や保育士の姿を手本にして、自分でできることはがんばってやります。

そこで、家庭でもお手伝いをするよう勧めることにしました。

連絡ノートにお手伝い欄を設け、○印をつけてもらうようにしたとこ

ろ、張り切つて働いている子どもたちの様子が多く伝えられました。
△家庭より▽

☺「朝、ポストから新聞を取ってきてもらい、「ありがと」と言つて、うれしそうです。今朝は、寝起きに機嫌が悪かったのですが、「新聞を取ってきて」と頼むと機嫌がよくなり新聞を取ってきてくれました。お手伝いってすごいですね」(1歳・女児)

☺「ずっと前から布団敷きをやってくれてますが、最近姉がサボリ気味。『誰か手伝ってやー!』とブツブツ言いながらも、大きな布団2組、シーツのしわも嫌なように、ピンとのばしてきれいにしてくれました。すごく助かっています」(3歳・男児)

これからも、子どもたちが、さまざまな体験の中から、五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)を通して、いろいろなことを学び、自ら考えて意欲的に行動できるように、保育を展開していきたいと思っています。

～有料広告募集中～

【大きさ】

縦5cm×横18cm(1号広告)

縦5cm×横9cm(2号広告)

縦5cm×横6cm(3号広告)

【掲載料】

1号広告 30,000円/回

2号広告 15,000円/回

3号広告 10,000円/回

パソコン修理・データ復旧

年中無休/ご相談・お見積無料

パソコントラブルでお悩みの方は是非ご家庭・職場のPC環境をフルサポート!!

ワイスパニエール

9:00～19:00

倉吉市堺町2丁目239-41
堺町バス停から徒歩1分

内閣府認証 パソコン整備士協会登録

☎0858-23-4564

気軽にご連絡を! 地方配送いたします。

- 奥出雲はざかけ コシヒカリ 3,600円/10kg
- 三朝コシヒカリ 3,400円/10kg
- 新米コシヒカリ 3,200円/10kg
- コシヒカリブレンド 2,800円/10kg
- 玄米 2,700円/10kg
- モチ米 350円/1kg

秋本農園

0120-366220

倉吉市大塚(秋本吉人) ☎26-4128 / ☎26-4138



広報専属!! 倉吉市総合政策課
☎22-8161 / ☎22-8144

倉吉市同和教育研究会市民活動委員会 活動報告 水平社発祥の地、柏原を訪ねて

倉吉市同和教育研究会では、8月18日(木)、市民活動委員会を中心とする24人で、「人権のふるさと」奈良県の、水平社発祥の地である柏原(現御所市)を訪ね、人間解放に向けた歴史を学び、同和教育の原点を振り返りました。

全国水平社創立

被差別部落の人々は、明治4年の「解放令」により、形の上では封建的な身分制度から解放されました。しかし、実際にはさまざまな差別が残り、貧困に苦しんでいました。

大和同志会等は、これを解消するために、部落の生活改善と社会啓発を目指し、人々の同情と理解を求め差別をなくそうと融和運動を始めました。

しかし、後に水平社結成の中心メンバーとなる柏原(現御所市)の青年、阪本清一郎、西光万吉、駒井喜作たちは差別の原因はあくまで、差別する側にあるとして、差別の糾弾や啓発によって部落差別を解消しよう立ち上がりました。

そして、大正11年3月3日、京都市岡崎公会堂で全国水平社創立大会が開催され、「人の世に熱あれ人間に光あれ」と「水平社創立宣言」が採択されました。この宣言は、日本最初の人権宣言ともいわれています。

当時、全国各地にも強い信念のもと、部落解放運動を行っていた人々はいましたが、なぜ、奈良のこの地が先進地となったのでしょうか。

部落解放運動の先進地となったわけ

- ① 膠・桐下駄などの産業が活発で、その経済力が生活を支えていたこと。
 - ② ①の経済力を背景に、全国各地に出向き情報収集ができたこと。
 - ③ 水平社ができる以前の環境改善闘争を経て燕会などの解放運動の組織化ができていたこと。
- などが大きな理由でした。

「水平社」という名称と良き理解者

水平社という名称は、創立メンバーの一人、阪本清一郎の発案で、由来は、「あらゆる尺度というものは人間が作った。そしてその尺度によっていろいろな差がでてくる。絶対に差のできないものは水平である」と語っています。

水平社創立趣意書「よき日の為には、水平社創立の中心であった3人の青年たちが住んでいたすぐ隣村の、彼らの良き理解者であり相談相手であった住職の計らいで全国各地へ発行されました。

学びから行動へ……

水平社創立大会を通して全国に向けて発した青年たちの声や、立ち上がった青年たちの解放運動に対して、共感、賛同した人々が集い、解放への叫びが内側から燃え上がり、そして外側に向けて発せられました。

あの当時の青年たちが命懸けで叫んだ声は、実は、現在に生きる私たちに向けられた叫びではないでしょうか。部落の完全解放が、全ての人の人権を尊重することに繋がるのだという思いから、強いメッセージを残したのだと思います。

差別していること、また、差別されていることに、どれだけ多くの人が苦しんできたか。

「水平」の意味するものが何である

12月4日(日)から10日(土)は「人権週間」、12月10日は「人権デー」です。
この週間を一人一人の人権週間(人権習慣)にしましょう。
【啓発活動】
とき：12月5日(月) 午後4時～
ところ：パープルタウン 周辺

か、頭の中で理解できても、態度や言動、そして行動に対し、深く意識を払わなければならないことに気がつかされました。

人権学習は、人と人との関わりのある普段の生活の中にこそ重要で、私たちは、過去にあった事実から学び、そして見抜く力を身につけ、行動に移していくことが必要です。



▶水平社結成の中心メンバー西光万吉の生家である西光寺前(補修工事中)

まちがと ピンナツプ



～ごみのない、美しい倉吉を目指して～

林道円谷・広瀬線の不法投棄清掃奉仕作業

10月28日(金)

「緑を守り育てる会」の皆さんをはじめ、県、市職員総勢27人でごみの撤去をした結果、可燃ごみ250 kg、不燃ごみ400 kg、可燃性粗大ごみ100 kg、廃家電・タイヤ・金属くず等1,000 kgのごみを回収することができました。

住みよい倉吉にするため、不法投棄はやめましょう！

～250年の時を超えて人の流れが復活！～

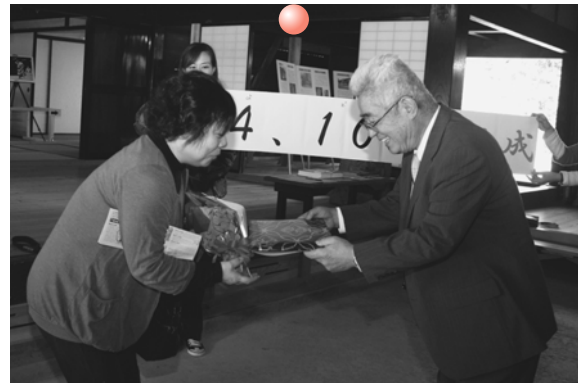
倉吉淀屋入館者24,108人達成

11月4日(金)

旧牧田家住宅は、平成21年4月から「倉吉淀屋」として、「倉吉淀屋運営委員会」(大澤俊二会長)により公開されています。

そしてこのたび、入館者が24,108人に達し、記念のセレモニーが執り行なわれました。「24108」は、すなわち「復活(2)淀(410)屋(8)」。

24,108人目の入館者は、奈良市西大寺から夫婦で訪れた大西幸子さんでした。福井教育長などから花束や記念の倉吉緋(あまのこ)が渡されると、突然の出来事に驚きながらも、「古い街並みを巡るのが好きです。倉吉淀屋は立派な建物で、歴史を感じさせる趣きがあり、すてきですね」と笑顔で話していました。



～あなたは思う存分ばえましたか？～

倉吉駅グランドオープン記念「倉吉ばえん祭」

11月6日(日)

JR倉吉駅のグランドオープンを記念して、「ばえん祭」が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、倉吉の方言で「騒ぐ、暴れる」という意味の名前のおり、活気あふれる元気な祭りとなりました。地元のダンスチームやサンバカーニバルが会場を盛り上げ、県中部の味自慢のお店も倉吉駅前に集合し、時には長い行列も。関金温泉の春のイベント「かごかきレース」も歩行者天国で行われ、沿道から大きな声援が送られていました。

家族連れなど多くの方が会場を訪れ、グルメに舌鼓を打ち、倉吉の新しい「熱気」を感じていました。



～災害発生時、迅速、円滑に物資の供給を～

災害時における物資供給に関する協定調印式

11月7日(月)

倉吉市とNPO法人コメリ災害対策センターは、倉吉市内で地震や風水害などの災害が発生、または発生するおそれがある場合に、倉吉市が行う災害応急対策に必要な物資を迅速かつ円滑に調達するため、災害時における物資供給に関する協定を締結しました。

NPO法人コメリ災害対策センターは、全国でホームセンターを展開する株式会社コメリの関連団体です。平成17年の設立以来、多くの災害に対応してきました。全国に8か所の物流拠点があり、倉吉市は自治体として321団体目に協定を締結しました。調印式にあたり、石田市長は、「市民の安心安全を守るために力を貸していただきたい」と述べ、コメリの山田望中四国地区本部ゾーンマネジャーは、「これまでの災害支援の経験を生かした対応をしていきたい」とあいさつしました。

災害時における物資供給に関する協定調印式

